



第3部門

『高年齢者の生きがい対策と人材活性化に関する研究』

(平成16年3月発行)

A4 196ページ

本書は、高年齢者の生きがい対策と人材活性化について、「生涯学習」を軸とした調査結果を考察したものである。また、高年齢者の生きがい対策に関して、学習、社会参加支援、職場開発、高年齢者の青少年教育、地域活動、生涯学習などの観点から研究をし、提言している。

目次

I 個人の「学習活動」に関する調査研究の概要

1. 調査・研究の経緯 宮坂いち子（聖徳大学人文学部英米文化学科教授）
2. 調査の目的と調査実施概要 齊藤ゆか（聖徳大学生涯学習研究所非常勤職員）

II 調査結果の考察

1. 調査協力者の特徴 早坂明彦（聖徳大学人文学部現代ビジネス学科助教授）
2. 学習に関する意識行動の実態 齊藤ゆか（聖徳大学生涯学習研究所非常勤職員）
3. 学習者の取得資格の種類と年齢 都築忠義（聖徳大学人文学部児童学科教授）
4. 生涯学習社会貢献センターの関わりからみたSOA
宮坂いち子（聖徳大学人文学部英米文化学科教授）
聖徳大学オープン・アカデミー校長）
5. 高年齢者の青少年とのかかわりの実態
長田由紀子（聖徳大学短期大学部介護福祉学科助教授）

III 高年齢者の生きがい対策と人材活性化に関する研究

1. 高年齢者の学習・社会参加支援に関する研究
上條秀元（宮崎大学生涯学習研究所所長・教授）
2. 定年退職者に関する国内外の研究
齊藤ゆか（聖徳大学生涯学習研究所非常勤職員）
3. 高年齢者の職務・職場開発に関する事例研究
早坂明彦（聖徳大学人文学部現代ビジネス学科助教授）
4. 高年齢者の青少年教育活動への参加について
長田由紀子（聖徳大学短期大学部介護福祉学科助教授）
5. 地方にみる高年齢者の地域活動の実態と課題－山梨県勝沼町を事例として－
蓑輪裕子（聖徳大学短期大学部総合文化学科講師）
6. 高齢期におけるボランティア活動の実態と「プロダクティブ・エイジング」の可能性
齊藤ゆか（聖徳大学生涯学習研究所非常勤職員）
7. “創年”の生きがいと生涯学習 宮坂いち子（聖徳大学人文学部英米文化学科教授）

IV 提言

－高年齢者の生きがい対策と人材活性化の方向－

西村美東士（聖徳大学人文学部児童学科教授）

【資料編】